

**第118回新生ふくしま復興推進本部会議**  
**第29回福島イノベーション・コースト構想推進本部会議 合同会議 議事録**

- 日時：令和4年9月5日（月）16：30～16：40
- 場所：危機管理センター災害対策本部会議室（北庁舎2階）

**【鈴木副知事】**

只今から、新生ふくしま復興推進本部会議及び福島イノベーション・コースト構想推進本部会議の合同会議を開催いたします。

早速、報告事項の1つ目「国の令和5年度予算概算要求」、それから2つ目「福島イノベーション・コースト構想推進関連予算」について、企画調整部長。

**【企画調整部長】**

まず、「国の令和5年度予算概算要求」について御説明いたします。資料1を御覧ください。

政府予算対策につきましては、6月の政府要望をスタートとして、国との協議を重ねてまいりました。資料の左側は、先月の福島復興再生協議会の場において、知事から各大臣に直接要望いただきました項目を記載しております。右側は、先月末に各省庁から財務省に提出された令和5年度概算要求の主な状況を対応させております。第2期復興・創生期間の折り返しとなる令和5年度においても、避難地域の復興・再生に必要な福島再生加速化交付金や特定復興再生拠点整備事業、避難者等の生活再建に必要な被災者支援総合交付金等の予算が盛り込まれております。

また、ALPS処理水への対応を含む風評払拭・風化防止対策の強化、福島新エネ社会構想の実現に係る予算についても引き続き計上されております。

なお、事項要求とされました特定復興再生拠点区域外に係る事業や、福島国際研究教育機構関連事業につきましては、引き続き、必要な予算が計上されるよう国へ求めてまいります。今後、財政当局との折衝に向け、各省庁を後押しできるように、各部局が根拠となるデータ等を用いて丁寧に説明し、福島県の要望が年末の政府予算案に確実に反映されるよう、引き続き、国との協議・調整を進めてまいります。

続いて、「福島イノベーション・コースト構想推進関連予算」について、資料2を御覧ください。要望に対応した各項目について、令和5年度概算要求の主な状況を記載しております。先ほど説明しました「福島国際研究教育機構の具現化」のほか、「研究開発等の推進・産業集積の促進」では、新たに競争的な水素サプライチェーン構築に向けた技術開発事業が計上されるなど、

構想の推進に必要な予算が盛り込まれております。

引き続き、福島県の要望の着実な予算化に向け、国との調整にしっかりと取り組んでまいります。報告は以上です。

**【鈴木副知事】**

今の説明に関して、避難地域復興局。

**【避難地域復興局長】**

避難地域復興局関係では、只今の御説明にもありましたとおり、福島再生加速化交付金、特定復興再生拠点整備事業や被災者支援総合交付金など、避難地域の復興・再生及び避難者等の生活再建の実現に必要な予算が計上されております。また、特定復興再生拠点区域外に係る事業が事項要求として盛り込まれております。引き続き、必要な予算・制度が措置されるよう、関係省庁との調整をしっかりと進めてまいります。

**【鈴木副知事】**

生活環境部。

**【生活環境部長】**

生活環境部関連では、中間貯蔵施設事業の着実な実施や県外最終処分に向けて全国での理解醸成など環境回復の取組のほか、ふくしまグリーン復興構想や脱炭素の視点を含む復興まちづくりなど未来志向の環境施策の推進に向けて必要な予算が計上されました。また、避難地域等における鳥獣被害対策や公共交通の確保などの予算が計上されております。今後も、これらの予算が確実に確保されるよう、関係省庁と調整を進めてまいります。

**【鈴木副知事】**

保健福祉部。

**【保健福祉部政策監】**

保健福祉部関連では、被災者の心のケアへの支援、避難地域等における医療提供体制の再構築など、被災地である本県に寄り添った、中長期的に必要な取組について、予算が計上されております。これらの予算及び新型コロナウイルス感染症対策に必要な予算が確実に確保できるよう、引き続き、関係省庁としっかりと調整を進めてまいります。

**【鈴木副知事】**

商工労働部。

**【商工労働部長】**

商工労働部関連では、概算要求に、企業立地補助金や地域復興実用化開発促進事業のほか、再生可能エネルギー、医療関連産業、廃炉関連産業などの推進に必要な予算が計上されております。また、観光関連復興支援事業など、観光復興の促進や風評払拭を更に推進するための予算が計上されております。これらの予算が確実に確保されるよう、今後とも必要な調整を進めてまいります。

**【鈴木副知事】**

農林水産部。

**【農林水産部政策監】**

農林水産部関係では、国の令和5年度予算概算要求について、風評払拭を総合的に支援する「福島県農林水産業復興創生事業」や「水産業復興販売加速化支援事業」に所要額が計上されました。また、「原子力被災12市町村農業者支援事業」の基金積増しを要望し、8億円が計上されました。今後は、これらの予算が確実に確保されるよう、関係省庁との調整を進め、避難区域の営農再開などに向け、農林水産部一丸となって取り組んでまいります。

**【鈴木副知事】**

土木部。

**【土木部長】**

土木部関連では、社会資本整備総合交付金（復興）による道路事業や国営追悼・祈念施設整備事業が概算要求に盛り込まれております。その他、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」については、金額は明示されておりませんが事項要求として盛り込まれており、河川改修や災害に強い道路ネットワークの構築、予防保全による老朽化対策等を重点的に進めるため、引き続き、必要となる予算の確保に向け、しっかりと取り組んでまいります。

**【鈴木副知事】**

教育庁。

**【教育長】**

教育庁関連では、教職員の加配やスクールカウンセラーの配置継続、イノベ構想を担う人材育成など、「福島ならではの」教育を推進するために必要な予算が計上されております。子どもたちの可能性を信じ、誰一人取り残さない、一人一人が主役となる教育の実現に向け、引き続き、関係省庁と調整を進めてまいります。

**【鈴木副知事】**

ほかにありますか。なければ、知事からお願いいたします。

**【知事】**

国の来年度予算概算要求が公表されました。今、各部局長から発言があったように、それぞれが国との協議を進めてきたほか、あらゆる機会を捉えて令和5年度の予算確保を訴えてきました。

その結果、特定復興再生拠点区域外に関する事業や、福島国際研究教育機構に関連する事業など、今後の予算編成において具体的な検討が進められるものも含め、避難地域の復興・再生、避難者等の生活再建、ALPS処理水の処分への対応を含む風評・風化防止対策などについて、おおむね福島県の要望を踏まえる形で、関係府省庁に対応していただきました。

ここからがいよいよ大詰めであります。第2期復興・創生期間の折り返しを迎える令和5年度において、本県の復興と地方創生を更に加速させることができるよう、必要な予算・制度について、確実に年末の政府予算案に盛り込まれるよう、引き続き、国との協議・調整を進めてください。

**【鈴木副知事】**

以上で、合同会議を終了します。